

発行所

社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号

ブルーパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

2008年4月号

ほくし

平成一九年度
第二回総会(通常)

H20.3.28



平成二〇年三月 八日(金)
午後七時より北区民センタ
ーに於いて、北区歯科医師
会平成一九年度第二回総会
(通常)が開催された。
多田議長、矢追副議長が
着席し定刻に多田議長より
開会宣言が行われた。賀本
理事より点呼の結果発表が

あり、現会員数一九八名、
定足数二〇〇名、出席者三四
名、書面表決八四名、委任
状提出一八名、合計一三六
名で会の成立が報告された。
中谷副会長による開会の
ことばの後、議事録署名人
に一五班の井上敏治先生、
十一班の橋本收先生が指名

された。
黒川会長が挨拶に立ち執
行部は折り返し点が近付こ
うとしているが、遺漏なく
会務運営を頑張っているこ
ろであると述べた。

次に来賓の挨拶に移り、
天羽府歯理事より夜間緊急
歯科診療に二万三〇〇〇人
を超える患者さんの来院が
あり、府民の皆様から感謝
の声が寄せられていること
と、会員の協力に感謝を述
べられた。また日本歯科医
学会がもつと会員の為にな
るように日歯から指導して
いただくように、岡会長は
じめ府歯代議員会から強く
求めていると思うている
ことを述べられた。

報告事項で会務中間報告
が大塚専務理事よりなされ、
その間に物故者及びに物故
者家族への弔慰黙祷が行わ
れた。その後、野口常務理
事より福祉共済制度会務中
間報告、三輪理事より会計



中間報告、野口常務理事よ
り福祉共済会計中間報告が
なされた。

続いて、委員会報告とし
て福祉共済制度検討委員会
報告が橋本収委員長より、
府歯代議員報告が高麗代議
員より行われた。報告の最
後に新入会員(二班)川里
邦夫先生の紹介を行った。

議事に移り第一号議案平
成二〇年度事業計画と第2
号議案平成二〇年度一般会
計収支予算が大塚専務理事、
大浦常務理事より一括上程
され、出席者全員の挙手に
より可決された。引き続き
第三号議案平成二〇年度特
別会計収支予算の提案理由
説明が大浦常務理事、野口
常務理事よりされ、採決が
行われた。これも全員の挙
手により可決成立した。

最後に東郷副会長より閉
会のことばがあり、多田議
長の閉会宣言により総会が
終了した。



パノラマ

四月に入りガ
ソリン暫定税率
が期限切れとな
り経済活動の混
乱の中、長年価
格が変わらずに
いた牛乳やしょ
うゆなどの出荷
価格が一斉にあがった。い
ずれも原材料高騰が理由で
ある。

また、政府の小麦売り渡
し価格の三〇%引上げに
よりパン、麺類、菓子な
どの価格が四月以降アップ
することは避けられないで
あろう。

このほか電力やガス料金、
国民年金の保険料上昇と家
計にとっては負担増の新年
度となった。

現在の日本の経済は「イ
ンフレーション(物価の上
昇)とスタグネーション(景
気の後退)が同時に発生す
る」スタグフレーションへ
と移行しつつある。

今回の診療報酬改定で
8年ぶりに〇・四二%アッ
プのプラス改定が実現し
たものの、生活必需品の
値上げが家計に打撃を与
え家計から医療に使うお
金を制限せざるを得なく
する状況を危惧するのは
私だけだろうか?ぜひと
も景気を良くしてほしい
ものだ。(A)

論説

「春の突風」

副会長 東郷達夫



穏やかな日差しが差し込む春風駘蕩の季節です。しかし、昨今の世情は如何なものだろうか？年金受給問題、後期高齢者（長寿）医療制度、揮発油税及び地方道路税問題など国民生活に密着する多くの問題が山積し政治も大きく揺れ動いているようである。

歯科界もご多分に漏れず多かれ少なかれこの春の嵐の影響を受けているように思う。新年度に入り診療報酬改定と同時に後期高齢者医療制度の導入が実践された。今回の改定では〇・四二%引きあげられ、日歯の見解によると特徴として・治療方針の見直しによる治療体系の変更・後期高齢者医療制度の創設による在宅療養支援歯科診療所の設置・先進医療からのものも含めた新規技術の保険導入などと述べられている。しかし、

反面社会保障費二二〇億円の削減のシーリングを受けており、改訂を取り巻く状況は依然変らず厳しいとも報告している。

一方、少子高齢化と経済の低成長が続く中、今後医療費の中でとくに老人医療費が半分占めると予測されている。これまでの老人保健制度を続けると現役世代の負担が大きくなりすぎるため、高齢者世代にも公平に負担を依存する制度が考えられてきた。その結果、後期高齢者医療制度が導入された。そして、将来的には診療報酬は別建ての定額制とし後期高齢者の心身の特性に相応しい診療報酬体系を口実に、診療報酬を引き下げ、受けられる医療に制限を設ける方向を打ち出している。「定額制」となれば、積極的に治療すればするほど医療機関の持ち出しとなり、手をかけないほうが利益を多く生み出す仕組で、高齢者に対する医療内容の劣悪化を招く恐れがあります。このように高齢者の保険料の増額と診療報酬体系変更で医療費抑制

することが目的と推察する。即ち医療の本質を無視し、財政的な課題のみに対応するために導入された制度と疑問の念を抱かざるをえない。

この制度の導入で国民も行政も混乱している中、ワーキングプアとささやか

みおつくしの会

H20
3.29

おだやかな晴天に恵まれた三月二十九日（土）の正午より、ホテル阪急インターナショナル二五階「本吉兆」にて十三名のご長寿の先生方にご出席いただき、「北歯みおつくしの会」が開催されました。

野口常務理事の司会の下、



る歯科界も個々の診療報酬の引き上げを願うことも当然であるが、経済的な面からだけではなく、もっと大きな視野から国民の健康を維持し、健やかな生涯を過ごせることを支援する保険の在り方を考える好機ではなからうか。

黒川会長による開会挨拶の後、安田良三先生に乾杯の音頭をお願いして祝宴が始まりました。今年は懐石料理をいただきながら春の宴となりました。

各先生からご近況や歯科界への所感などを伺い、和やかな歓談の中にも活発な意見交換も行われて、予定時間が瞬く間に過ぎてしまいました。最後に中谷副会長による閉会の挨拶の後、記念撮影を行い春恒例となりました祝宴を終了しました。ご出席戴きました先生方には厚くお礼申し上げます。

尚、当日のご出席は安田良三先生、安田清子先生、青山敏男先生、前田勝先生、山田昇一先生、阪本義樹先生、大塚禮三先生、井上慶子先生、井上敏治先生、三



浦康宏先生、猪木一成先生、坂口喜史夫先生、西川亨先生でした。

部員)

(福祉2部 野口秀夫記)

編集後記

(出席役員・黒川会長、中谷副会長、東郷副会長、高麗副会長、大塚専務理事、高畑理事)
(福祉2部・野口常務理事、廣田部員、森川部員、國田

現広報部も折り返し地点となりました。今後ともがんばりますので、よろしくお願い致します。(広報部一同)